授業サンプル2\_指導案

**ごみ袋の有料化にあなたは賛成？反対？**

**～ごみ袋の有料化について討論しよう！～**

１．本授業のねらい

　本授業は、ごみ袋の有料化という生徒にとって身近な社会問題について、公文書等をはじめとする資料の読解と、討論（ディベート）を通じて、理解を深めるとともに、地方自治に主体的に参加する意識を醸成することをねらいとしている。

　近年、脱炭素社会の実現を目指すなか、ごみ処理の有料化は国の重要な施策となっている。平成28年1月には「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」が改正され、「経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図る」ことが目指されることとなった。これを受け、国は地方公共団体の取組の支援・調整を進めている[[1]](#footnote-1)。

　脱炭素社会の実現を目指し、国によりごみ袋の有料化が推奨される一方で、いざ、ごみ袋の有料化を地方公共団体の政策として実現する際には、審議会やパブリックコメントを通じて、反対意見や導入への懸念など、否定的な意見が現出することも少なくない。そこで、本授業では、公文書等の読解を通じて、そうしたごみ袋の有料化に至るまでの議論の過程における様々な立場の意見を知るとともに、意見調整を経て政策が実現するという地方公共団体の役割、住民参加に基づく地方自治のあり方について考察を深めることをねらいとしている

２．本授業で修得を目指す「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」と指導のポイント

本授業では、まず、ごみ袋有料化という生徒にとって身近な社会問題について、授業冒頭において生徒自身の「賛成」・「反対」意見を確認したうえで、ごみ袋の有料化を巡る国内の議論、○○市の現状やごみ袋有料化時の議論を考察し、ごみ袋有料化のメリット・デメリットの両面について理解を深めていく。そして、授業最後に、授業冒頭と同じ質問を行うことで、身近な社会問題に対し、主体的に問題解決に取り組み、根拠をもって自らの意見を主張できるよう指導を行う。

本授業で修得を目指す「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」と指導のポイントは下記の通りである。

|  |  |
| --- | --- |
| 知識・技能 | ・脱炭素社会の実現を目指すなか、国の施策としてごみ袋有料化が進められ、多くの地方公共団体においてその導入が進められている現状について理解する。他方でごみ袋有料化にはメリット・デメリットの両面があることを理解する。  ・地方公共団体のパブリックコメントをはじめとする公文書等の分析を通じて、様々な資料から自身の判断に必要な情報を適切に修得する技能を身に付けさせる。 |
| 思考力・判断力・表現力 | ・ごみ袋有料化を巡る様々な立場の意見が反映した公文書等を多面的、多角的に読み込むことで、思考力・判断力を身に付ける。  ・ディベート及び授業冒頭・終わりのワークシートを通じて、多様な意見を受け止め、自らの意見を適切に表現する力を身に付ける。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・ディベート及び授業冒頭・終わりのワークシートを通じて、身近な社会問題に対し、主体的に問題解決に取り組む態度を育む。 |

３．事前準備

（1）資料準備

・生徒への配布資料として、ワークシートと以下の資料を用意する。（　）内は用意する際の参考情報。

|  |
| --- |
| 資料1「有料化の目的及び期待する効果」（環境省「一般廃棄物処理有料化の手引き」（令和4年3月））  ☑資料2「有料化を検討する必要性について」（審議会資料）  ☑資料3「○○市ごみ減量・有料化施策に係る検討結果について（答申）」（審議会の答申）  ☑資料4「家庭系ごみ有料化に対する質問・意見一覧表」（ごみ袋有料化に際して実施されたパブリックコメント）  ☑資料5「家庭系ごみの有料化前後のごみ量の変化」（ごみ処理総合計画（市区町村が定期的に作成）） |

※国（環境省）作成の手引き（資料1）、審議会答申やパブリックコメント（資料3・4）、ごみ処理総合計画（資料5）については地方公共団体のウェブページに掲載されていることが多い。

※資料の配布枚数が多く、生徒の負担になる場合には、資料4・資料5のみ配布資料とし、資料1～3については、教員の説明資料としてもよい。

（2）グループワーク分け

・賛成派・反対派に分かれ議論（ディベート）を行うため、どちらかの意見に偏りが出た場合に備え、座席の列ごとにグループを振り分ける準備をする。

４．授業展開案

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習活動 | 留意点 | 提示資料 |
| 導入５分 | １．ごみ袋の有料化にあなたは賛成？反対？ | ・ごみ袋の有料化について生徒自身の意見を問い、ワークシート課題1に意見（賛成・反対）と、その理由をまとめる。 | ・自宅や学校近辺の状況に着目させる。  ・賛成派・反対派に分かれディベートを予定していることから、自身の意見に近い方を答えさせる。 | PowerPoint1～2頁  ワークシートの配布  ※適宜、市のごみ袋の実物を提示する。 |
| 展開（1）５分 | ２．ごみ袋の有料化とは？ | ・PowerPointを見ながら、ごみ袋の有料化の概要を確認する。 |  | PowerPoint3頁 |
| ３．国の基本方針としてのごみ処理の有料化 | ・PowerPointを見ながら、廃棄物の排出抑制や再生利用の促進、住民の意識改革を進めるため、ごみ袋の有料化を国が推奨していることを確認する。 | ・脱炭素社会など環境問題への国の取り組みとの関係性に着目させる。 | PowerPoint4頁  ※適宜、脱炭素社会への取り組みのニュースなどを取り上げ紹介し、関心を高める。 |
| ４．全国の地方公共団体におけるごみ袋の有料化の状況 | ・PowerPointを見ながら、家庭系可燃ごみの有料化を導入している市区町村の割合（年度別・人口規模別）から動向を読み取る。 | ・生徒自身に棒グラフを分析させ、その特徴を答えさせる。 | PowerPoint5～6頁 |
| 展開（2）１０分 | ５．賛成派・反対派に分かれ、ごみ袋有料化のメリット・デメリットを議論しよう  【ディベート】 | ・クラスを賛成派・反対派に分け、ごみ袋有料化のメリット・デメリットを議論する。  ・議論の結果をワークシート課題2にまとめる。 | ・近年のレジ袋有料化などによりごみ袋の有料化について、賛成派に偏ることが予想される。そのため場合により、教員が列ごとに賛成派・反対派を指定する。 | PowerPoint7頁  ワークシート |
| 展開（３）２５分 | ６．国（環境省）が提唱する有料化のメリット（期待する効果） | ・資料1を配布し、国が提唱する有料化のメリットを読み解く。 | ・国が期待する効果を紹介するとともに、デメリットが主張されていないことに疑問を提起する。 | PowerPoint8頁  資料1「有料化の目的及び期待する効果」の配布 |
| ７．○○市におけるごみ袋有料化の議論～有料化の検討および導入の主な流れ、様々な意見～  【資料読解・ワークシート】 | ・PowerPoint及び☑資料2～４を見ながら、地方公共団体における、ごみ袋有料化の検討・導入の過程を確認する。  ・☑導入の過程における様々な立場の見解、市(資料2)、審議会の答申(資料3)、パブリックコメント(資料４4)を比較検証する。  ・☑資料4パブリックコメントを読み市民の意見から、「反対」意見や導入するうえでの懸念をワークシート課題3にまとめる。 | ・地方公共団体において政策が実施されるまでに、「審議会」や「パブリックコメント」を通じて知識人や住民の意見を取り入れていることに注目させる。  ・資料が多く生徒の負担となる場合には、資料2・3についてはPowerPointにより教員が説明し、生徒には資料4のみ配布し、ワークシートに取り組ませる。 | PowerPoint9～12頁  ☑資料2「有料化を検討する必要性について」、☑資料3「○○市ごみ減量・有料化施策に係る検討結果について（答申）」、☑資料4「家庭系ごみ有料化に対する質問・意見一覧表」（パブリックコメント）の配布 |
| ８．まとめ（１）～事業実績の評価～ | ・PowerPointを見ながら、地方公共団体の事業は、その後事業評価が行われることを確認する。  ・☑資料5を読み、○○市におけるごみ袋有料化の実績を評価する。 | ・事業の成果を評価させる。 | PowerPoint13頁  ☑資料5「家庭系ごみの有料化前後のごみ量の変化」の配布 |
| 整理５分 | ９．まとめ（2）～ごみ袋の有料化にあなたは賛成？反対？～ | ・授業導入時の質問を再度確認し、授業を踏まえ自身の意見が変化あるいは維持されたか、またその理由をワークシート課題4にまとめる。 | ・生徒に社会が直面している課題に関して自らの意見を持つことの重要性を意識させる。  ・住民参加に基づく地方公共団体の政治では、様々な利害関係者の意見調整が必要なことを確認する。 | PowerPoint14～15頁 |

５．評価のポイント：

・生徒自身が住む○○市のごみ袋有料化の議論について、自身にも関わる社会課題として主体的に取り組み、様々な立場の意見があるなか、根拠をもって自らの意見を主張することができたか。

・公文書等をはじめとする資料から情報を適切に把握し、「効率」・「公正」の見方・考え方を踏まえ、議論することができているか。

1. 環境省「一般廃棄物処理有料化の手引き」（令和４年３月） [↑](#footnote-ref-1)